

① ディレクトフォース

ディレクトフォースでは 3 人の方からお話を聞きました。中でも印象的だったものを紹介したいと思います。始めに外国と関わる上でということです。外国へ行く、世界と関わるとなると異文化理解、コミュニケーション、語学力などが必要になります。ブラジルに渡った安達さんの話によると、日本と異なりすぎてカルチャーショックを受けた、とおっしゃっていました。例えば、日本では時間に厳しく仕事を重視する風潮があります。しかしブラジルでは余暇に時間をかけ、時間も待ち合わせをしたらその一時間後に行くのが普通という、日本とは真逆の風潮があるそうです。実際私も以前カナダでホームステイをした時に、文化の違いに直面しました。家で靴を脱がない、洗濯は週に一度、映画館で寝そべって映画を観るなど日本とは違うことが沢山あり少し戸惑うこともありました。

しかし、このような違いが日本と外国ではたくさんありそれを受け入れる、これが異文化理解の一つかもしれません。だけどそれは簡単なことではありません。あまりにも違う文化を急に受け入れることは大変なことです。

しかし、グローバル化が進む中このような事が私達には求められています。異文化を理解することは相手を理解することに繋がります。安達さんは人と接する時に相手が何を考えているのか自分との違いを知ることが大事、そのためにはコミュニケーションをとることが重要とおっしゃっていました。簡単なようで難しいこの言葉が私の中では印象に残っています。ちょっとした事でも相手の立場にたって理解をしていく努力をしていきたいと思えます。忙しい中私たちのために貴重なお話をしていただきありがとうございました。

②外務省に行つて。

この研修で外務省に訪れたことが一番私の中で印象に残っています。国際関係の仕事に興味があったのでとても楽しみにしていました。中でも外務省で働く二高 OG の方の話が私は印象的でした。佐野さんは昔から外交官になりたいという夢があったそうでそれを実現させるために二高に入り、東京大学に入り、外務省に入ったとおっしゃっていました。こんな風に自分の夢を形にしたのはほんとにかっこいいし自分もそんな風になりたいと思えました。私は外務省や国連のような組織で働きたいと思っていますが、まだそれは明確ではないしそのために何をすればいいのかも分かりませんでした。しかし同じ二高を出て外務省に入った人がいるということは自分にもその可能性があるのではないかと、少し自信にも繋がりました。外務省では世界中の人と仕事ができ、安全保障理事会を担当したりすることもできるそうでそんな仕事をしている佐野さんはとても輝いて見えました。自分の好きなことを仕事に出来るのはどれだけすごい事なのだろう、どれだけ生きがいになるのだろうと、自分もそんな仕事に携わたいと思えました。では具体的に何をすればいいのか伺ったところ、とにかく英語の勉強、世界史の勉強が必要だそうです。また、学生の

うちにいろんな国に行くことも大事だそうです。私は海外にとっても興味があるし、英語も好きだし歴史も好きなのでこんな職業につけたらどれだけ幸せなのだろうと思いました。外務省や国連のような組織に携わり世界との繋がりを良くし、世界の問題にも携わり改善していきたいと思いました。外務省に行って自分の夢について深く考えることができ、本当に良かったです。自分の好きなことを職業にして、好きなことをやれる素敵な大人になりたいと思いました。

③東大生とのお話

東大と聞くだけで驚くのは私だけではないはずです。東大生は自分とはかけ離れすぎてなんの縁もない人たちだと思っていました。しかしそんな東大生と今回私達はたくさんお話をする機会がありました。

一日目の夜、二高 OB の東大生とお話をしました。勉強をする上で自分は将来何をしたいかどこの大学に入りたいか、目的を持って取り組むことが大事だと言っていました。去年までの自分は受験生だったので二高に合格したいということを常に頭に入れて勉強に取り組んでいました。しかし合格した今、自分は何のために勉強をしているのか、どうして自ら苦しい方を選択してしまったのか、と考えることがあります。しかし、目標があればそれに向かって努力をすることが出来ます。目標を決めれば必然的に自分のしたいことがわかります。そのために何をしたらいいのかもわかります。そんなことを東大生は教えてくれました。

二高に入ったのは自分の将来の夢に少しでも近づくため、勉強をたくさんするため…ゆっくり考え直すとたくさんでできました。そして東大生は皆、少しでも東大に行きたいと思っていれば全然狙えると言っていました。半信半疑な気持ちもありましたが、実際に二高から東大にたくさん行っている人がいて、二高という素晴らしい環境にいるので頑張りたいと思いました。

④東京大学見学

今回初めて生で東京大学を見ました。キャンパスは 3 つ分かれていて今回は駒場キャンパスと本郷キャンパスに行きました。キャンパス内はとても広く緑が多く、意外とお店がたくさんありました。駒場キャンパスでは Fair Wind の人たちによるワークショップを行いました。東大生によるプレゼンテーションや進路についてためになる話をたくさん聞くことが出来ました。ある人のプレゼンテーションでは、自分のやりたいことをみつけその夢を逆算していったり、なんとなくでいいからやりたいことの動機付けをすることが大切と言っていました。私の場合、外国と関わることがしたいと思っています。そのためには英語力、コミュニケーション能力、社会への関心、留学経験、自己主張できる力…などが必要だと考えました。これは大学へ行っただけでは得られるものではありません。だからこそ、普段からの他者とのコミュニケーション、学校での授業が大切なんだと思いました。

これはディレクトフォースでも教わったことで全て繋がっているんだなと思いました。

東大はあまり視野にありませんでしたが、今回の研修でたくさんの東大生とお話をし、キャンパスを見ていると自分もここに行きたい、と思いました。高すぎる目標ではあるけど、そこを目指していくつもりでこれから高校生活を送りたいです。

⑤まとめ

今回の東京研修は本当に私の中でいい経験となりました。自分の視野を広げることが出来たし、自分の進路を見つめ直すこともできました。実際にその場に行って雰囲気を感じることで得られるものも沢山ありました。東大はガリ勉が多く集まる集団というイメージがありましたが、私たちと変わらずフレンドリーな方が多く雰囲気もとても良かったです。外務省は仕事内容もたくさんあり外国と日本を繋げることが出来る素敵な仕事だと分かりました。

そして何よりこの研修で自分と同じ夢を持つ人が間近にいた事に気づくことができました。同じ班の 2 人が私と同じ外交など国際関係の仕事に就きたいと言っていて、とても嬉しかったです。今まで自分と同じような夢を持つ人が周りにいなかったけれど、今回、同じ夢を持つ人が同じ高校にいて、一緒に外務省を訪れることが出来ました。そしてそんな夢を実現した二高の先輩にも出会う事ができました。これはこの研修に参加しなければできなかったことです。目標をつくり、夢を見つけ、そしてそれを叶えることがどれだけ大変で、大切な事なのか気づくことが出来ました。自分の知らなかった世界を知ることもできました。あっという間の二日間でしたが、本当に貴重な経験ができたと思います。ありがとうございました。